

胎盤の位置の異常に関する研究

1. 研究の対象

- 2010 年 1 月～2026 年 3 月に大阪大学医学部附属病院 産科もしくはりんくう総合医療センター 産科（泉州広域母子医療センター）でご自身にとって初めての分娩をされた方

2. 研究目的・方法

- 目的：
近年、社会的需要が右肩上がりに増加している体外受精—胚移植治療を中心とした生殖補助医療による妊娠は、前置胎盤（胎盤が正常より低い位置（腔に近い側）に付着してしまい、そのために胎盤が子宮の出口の一部もしくは全部を覆っている状態）の高リスク因子である事が知られています。将来的によりよい生殖補助医療を提供するために、この原因についての仮説を検証し、基礎研究に反映させる事を本研究の目的とします。
- 方法：
既存の診療録情報より、より、妊娠中期において低位胎盤（低置胎盤＋前置胎盤）と診断された症例に関して最終的な胎盤位置情報を、生殖補助医療による妊娠とそれ以外の妊娠（自然妊娠、卵巣刺激＋タイミング法、自然排卵＋人工授精、卵巣刺激＋人工授精）の 2 群において比較検討する。
- 研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日
- 利用又は提供を開始する予定日：2025 年 10 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：胎盤の位置の情報、妊娠歴、分娩情報、病歴 等

4. 外部への試料・情報の提供

各研究機関の間での情報の受渡しについては個人情報の加工された情報のみを取り扱います。

5. 研究組織

- 研究代表者

大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学講座・教授・小玉 美智子

- 共同研究機関及び研究責任者

りんくう総合医療センター

研究責任者： 荻田 和秀

(診療局長・兼産婦人科部長・兼薬剤管理センター長・兼周産期センター産科
医療センター長・兼医療安全管理室長)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

- 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学講座

胎盤の位置の異常に関する研究 研究班

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

Tel: 06 6879 3351

中村仁美

- 研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学講座・教授・小玉美智子

- 研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学講座・教授・小玉美智子